

## 3 基本計画の実現に向けて（経営戦略）

### （1）計画の進行管理

自立した自治体として行財政運営を行ううえで必要となる進行管理の考え方を掲げ、総合計画の円滑な進行を図ります。

#### ① 総合計画の進捗管理の考え方

進行管理シートを活用して年度ごとの進捗状況进行评估しつつ、目標と成果、住民・企業満足度、費用対効果を踏まえ、行政課題に柔軟に対応していきます。また、計画の初期段階からの情報提供を充実させ、住民の行政に対する関心の向上に努めます。

#### ② 行政評価との整合性確保

進行管理シートに基づく進捗状況をもとに、施策・政策を評価する仕組みを構築し、総合計画と個別計画との連動性を確保していきます。

#### ③ 予算編成との整合性確保

施策や事業の評価結果を次年度の予算編成に連動させるため、評価作業と予算編成の時期を重ね合わせる仕組みづくりを目指します。

## (2) むらづくりの進め方

限られた経営資源を活かし様々な地域課題を解決していくためには、住民や企業と行政との情報共有による相互の信頼関係を高めつつ、ともに考えることが重要です。また、地域や民間の活力を活かすとともに、行政が主体的に実施すべきことに対して集中的に経営資源を投入できるような取り組みが必要となります。

### ① 住民、企業と行政による協働むらづくりの仕組み

村内で活動する団体や事業者などを含めた住民と行政の対話を深めていくとともに、住民と行政が新たな役割を担い、それぞれの役割を果たしていく住民との協働によるむらづくりを進めます。

### ② 地域の自治力向上や持続的な運営を可能とするための自治会など各種活動団体組織のあり方

地域団体やボランティア団体などの主体的な活動を活性化するための支援を充実させます。特に、活動の担い手となる人材育成を重点的に取り組みます。

### ③ 住民意向を集約し、むらづくりに反映する仕組み

住民自ら様々な活動に参加し、企画・立案に参加できる仕組みの充実を図り、地域一体となってむらづくりを進めていきます。

特に、将来のむらづくりについて、住民と行政が一緒になって検討していく機会を整備します。

### ④ 広報・情報発信のあり方

住民における行政への関心向上、協働によるむらづくり推進にあたり、情報を共有し意識をひとつにしていくことが重要であり、これまで以上にわかりやすい広報・情報発信に努めます。

### (3) 組織運営

自立した自治体として円滑な運営を図るうえで、適切な組織体制を構築するとともに、時宜に応じて柔軟に見直していくことが重要です。

#### ① 計画を着実に実行するための組織のあり方

一つ一つの施策・事業について、担当する部課が自立性を発揮して実現していくことが重要であり、連携、協働、共生など、多くの行政分野に横断的に関わる推進上の重要な視点を共有しつつ、地方分権時代に合致した庁内体制を確保していきます。

#### ② 社会経済環境の変化に柔軟に対応可能な組織構築

地域ニーズの多様化や社会経済環境の急激な変化に対して、適切に施策・事業を実施していくため、必要な人員や組織の構成についても柔軟な視点で見直しを行い、迅速かつ適確に対応できる体制の確保を図ります。

#### ③ これからのむらづくりに求められる行政職員像と育成の考え方

住民や事業者による自主的、自立的な地域活動の輪が一層広がるよう、行政職員の意識改革を図るとともに、必要なスキルを身につける計画的な研修機会の確保に努めます。

#### ④ 職員数の適正化

重要な課題に弾力的に人材を投入する仕組みを整備するとともに、ICT（情報通信技術）や民間活力の活用などによる業務効率化を進め、職員数の適正化を図ります。

## (4) 健全財政の実現

健全な行政執行においては、健全な財政を実現することが重要であり、常に最適な手法等を検討するなど、時代にあわせた仕組みや体制を確保します。

### ① 確実な収納の実施

将来にわたって安定的な行政サービスを提供できる財政基盤を堅持していくため、村税の確実な収納を図るとともに、時代の要請に応じた収納方法の柔軟な見直しに努めます。

### ② 受益者負担の適正化に対する考え方

施設運営費等を踏まえ、近隣市町との財政力の違いにより生じた受益者負担割合の見直しを進め、施設利用の実情に応じた負担額の設定や村外からの利用ニーズに対応する負担のあり方を検討します。また、財政状況や周辺地域との均衡等に配慮した受益者負担の考え方を継続して検討し、公平性の高い運用を目指します。

### ③ 予算編成の基本方針

近隣市町における財政運営の取り組みを参考に、行政執行の見直しと効率化の徹底による財源確保に取り組むほか、事業評価に基づいた効果的な予算編成の方針や仕組みを検討していきます。

一方、今後のむらづくりに大きな影響を与える新たな課題が生じた場合、その解決に向けて予算投入が不可避とされれば、積極的に予算を講じていきます。